

教室づくり、設備、備品の工夫について

学校に対して苦手意識を持つ生徒に配慮し、「画一的な学校施設」という印象を払拭して、心理的安心感を高めます。

1. 「学校らしさ」を消す工夫

生徒が長時間過ごす場所を優先的に、既存のフローリングを生かしながら木質化したり、光環境を調整できる照明改修を行い、空間の印象を和らげます。

2. 安全・安心な居場所

一人ひとりの生徒が安心できる、居心地の良い場所となる環境を整備します。

1階は「個別ゾーン」とし、多様な個別空間を設けます。生徒が一人で学習に向き合いたい時、誰かに話を聞いてもらいたい時、カウンセリングや保護者面談に使用する等、多様な個別空間を確保します。

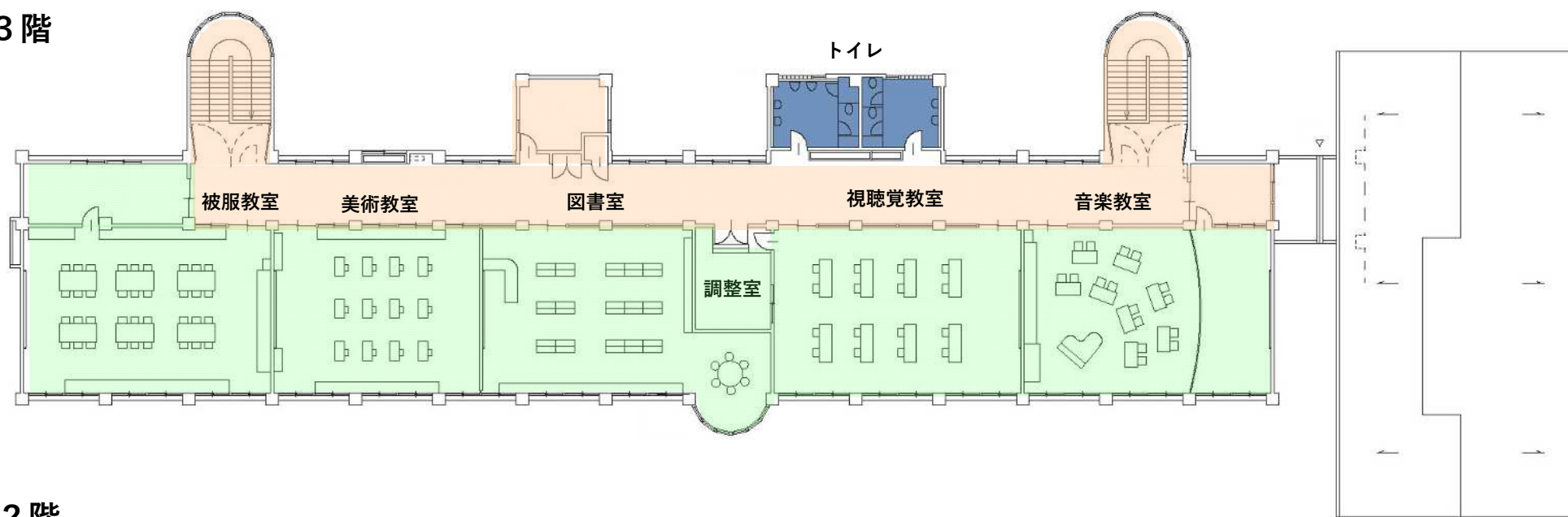
2階は「交流ゾーン」とし、日常的な学習スペースである普通教室や仲間と過ごすオープンスペースを設けます。オープンスペースでは、可動式の家具等を配置し、他者と交流したり、集団の中においても、ひとり空間を作れるように工夫します。

3. 生徒による学校づくり

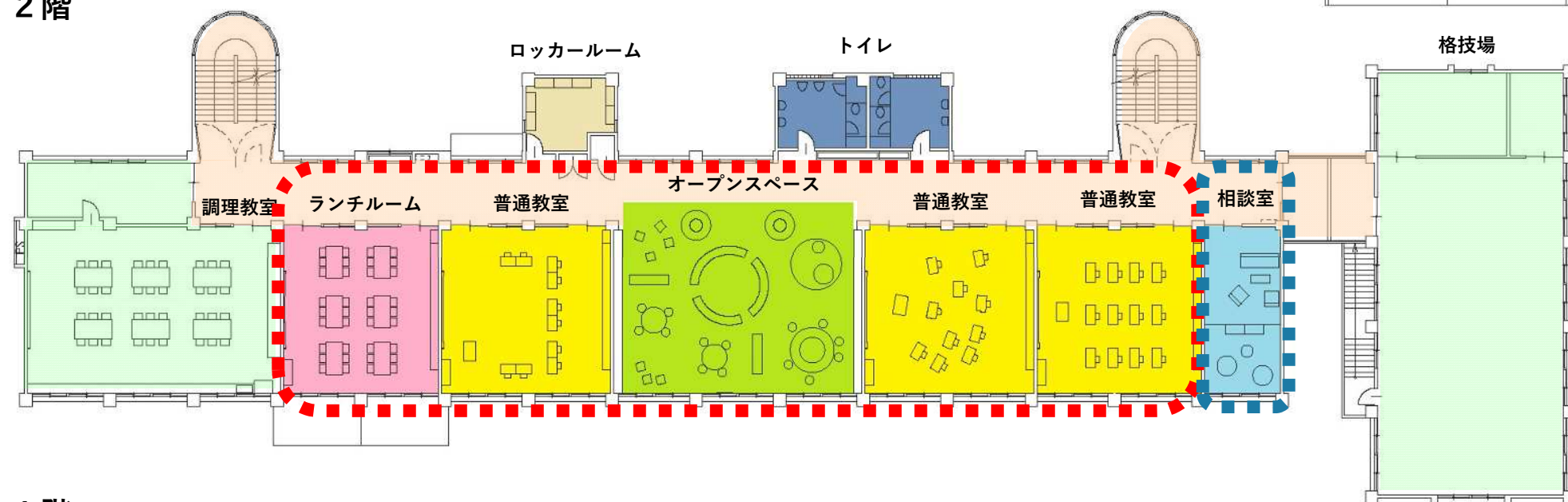
各部屋の室名サインを一新し、サインデザインは生徒の意見を参考にしながら決定します。

生徒が関わることで、学校への愛着と「自分の居場所」という意識を育みます。

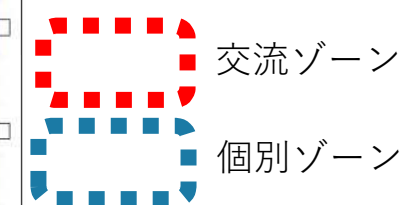
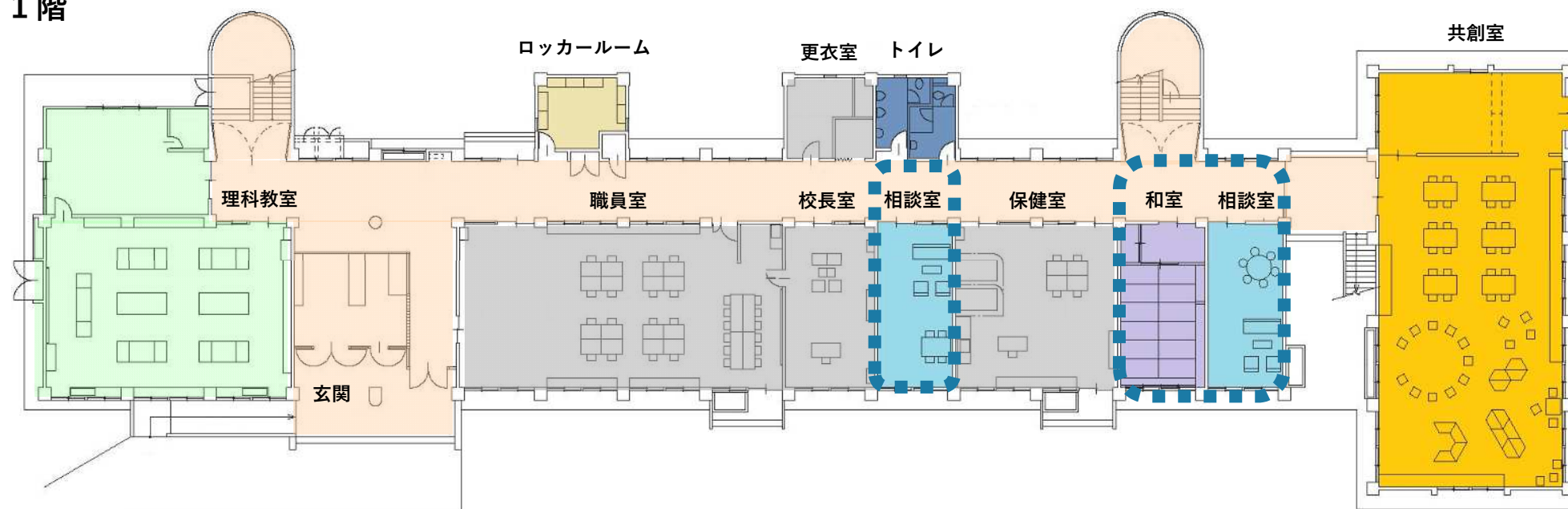
3階



2階



1階



《オープンスペース》

生徒一人ひとりが自由に過ごせる校内の中心スペースです。家具を可動式とし、配置を柔軟に変更できるようにしたり、複数の種類の照明を組み合わせることで、多様な空間をつくります。



《普通教室》

生徒が過ごす日常的な学習空間です。

黒板からホワイトボードに交換したり、従来よりもゆとりのあるサイズの机と椅子を配置したりすることで、画一的な教室環境を見直し、一斉授業の場から、生徒の状態に合わせて過ごし方を選べる安心の居場所へと転換します。



《ランチルーム》

教室を転用し、生活空間に近いリラックスできる食事の場を作ります。テーブルを囲んだ際、自然と落ち着きを感じられる光環境を整えます。(一人で落ち着いて食事を取りたい時は、相談室等の別室を利用します。)

《トイレ》

身体的・心理的負担を感じさせない快適な空間とすべく、全ての便器を洋式化し、内装を改修することで、一人で落ち着いて過ごせる安心で清潔な環境を整えます。無機質な印象を一新し、誰もが心地よく落ち着ける空間へ刷新します。



《相談室》

個別相談・オンライン学習・教室以外の居場所など、生徒が教室以外の居場所を必要とする際の空間とするため、1階に2部屋、2階に1部屋設けます。

内装や照明を工夫し、教室とは異なる落ち着いた雰囲気、安心して滞在できる空間を作ります。保護者が生徒を待つ際にも利用できると考えています。



《和室》

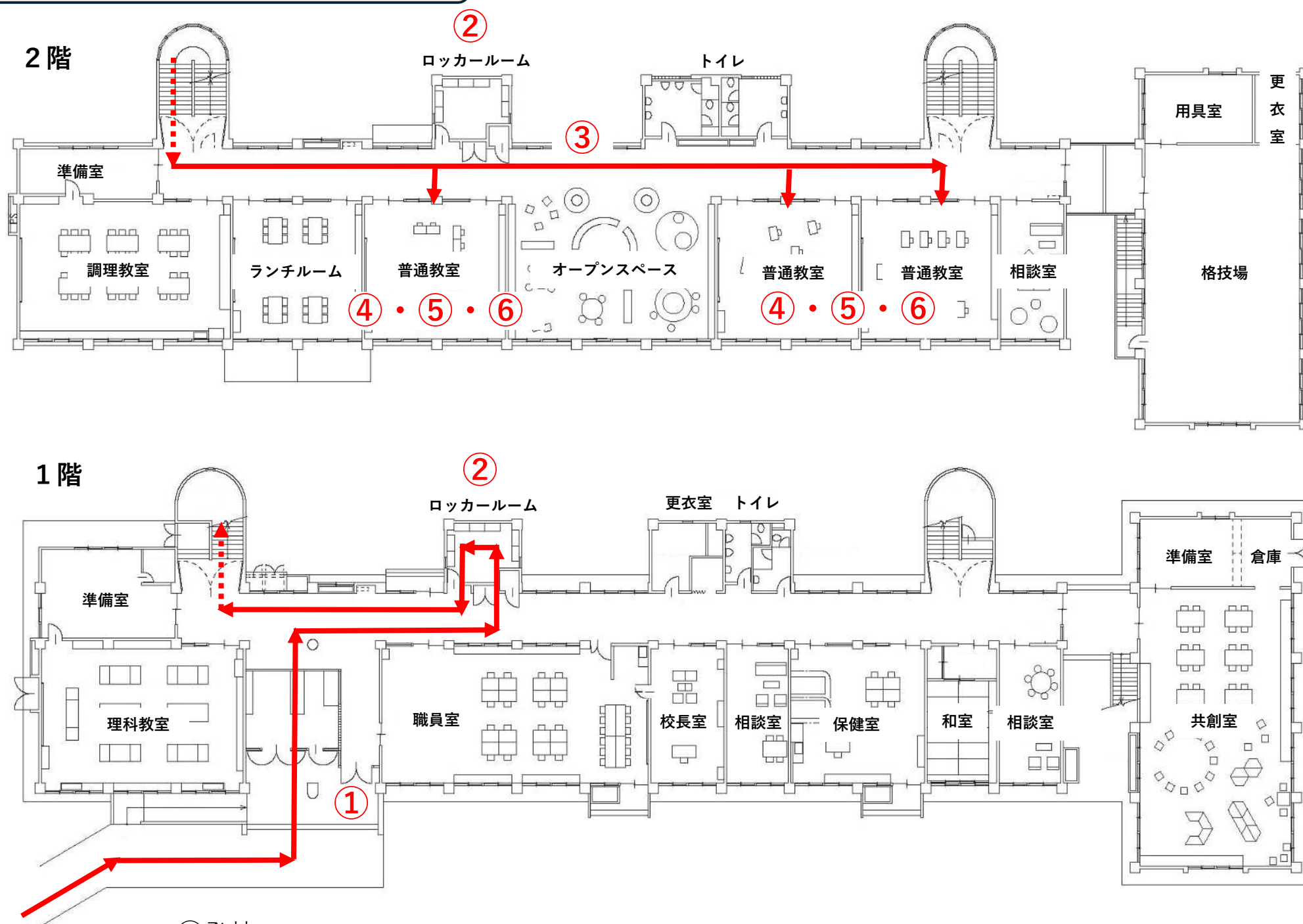
畳の特性を活かし、誰もが落ち着ける柔軟な居場所として活用します。座る・横になるなど自由な姿勢で過ごせる環境とします。

《共創室》

生徒自らのアイデアを形にしたり、地域の人々や多様な存在とつながりながら、体験的・創造的な学びを行う空間として活用します。

※イメージについては今後の設計状況により変更になる場合があります。

登校後の過ごし方のイメージ



- ①登校
- ②ロッカールームで貴重品等を収納する（男子1階、女子2階）
- ③普通教室へ
- ④タブレットなどに登校状況を登録（同時に、保護者へ登校の報告通知）
- ⑤1日の予定を教室の掲示板上へ記入
- ⑥ウォーミングアップへ

1日の生活の流れ

9:30 ~ 9:40

登校 ウォーミングアップ

タブレット等を活用し、健康観察を行います。
1日の予定・過ごし方について、教職員と相談しながら決めます。
学ぶ場所をボードで共有します。

普通教室



AM/PM
授業

教職員と相談をしながら学ぶ場所・学び方を自己決定することを大切にします。
多様な大人・地域の方とともに学ぶ「共創室」、異学年でのコミュニケーション活動等を行うオープンスペース等があります。

普通教室



相談室

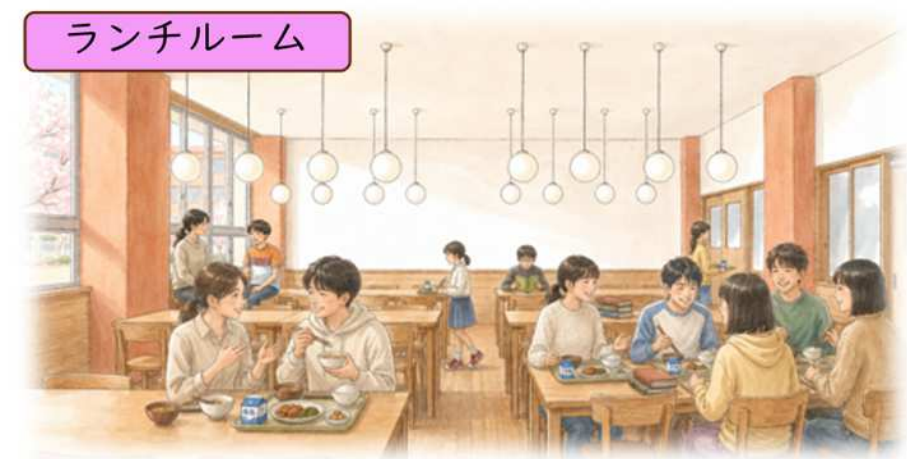


12:10 ~ 13:00

昼食

ランチルームで給食を食べます。
集団参加の度合いを一人ひとりが選べるように工夫します。

ランチルーム



15:00 ~ 15:30

クールダウン 下校

対話を通して、1日の振り返りを行います。

オープンスペース



共創室



普通教室

